

とめNNだより

令和元年9月発行
第18号

「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称 NN 部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年4回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

【東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部広報広聴活動推進委員会】

■新たな標準区画（2ha 区画）と人・農地プランの勉強会を実施しています！

登米管内では、昨年度、登米地域農業のさらなる発展のため「登米地域の初期型ほ場整備再生計画」を策定しました。今年度は本計画に従って活動を開始し、標題の勉強会を開催しています。これは、被災地等で導入を始めている「新たな標準区画（2ha 区画）」や、登米市が今後2カ年で進める予定としている「人・農地プラン」の実質化等を地元の耕作者に情報提供する「勉強会」です。県、登米市、関係土地改良区、JAみやぎ登米及びみやぎ農業振興公社がメンバーとなって一体的にこの勉強会を実施しており、本計画の対象となる地域の関係者全てに対して、12月までに終了させる計画で進めています。

参加者からは多くの質問が寄せられ、近年の農政への高い関心や、登米地域農業の発展に向けた意識の高さを感じられます。



▲米山地域の説明会の様子



■宝江小学校で農業と農村のはたらきについて勉強しました！（登米市中田町）

令和元年7月12日（金曜日）に、登米市立宝江小学校の5年生で行っている総合学習の支援として、「農業と農村のいろいろなはたらき」について説明を行いました。

今回説明した農業と農村のはたらきは・・・

1. 食べものをつくる
 2. 洪水を防ぐ
 3. いきものすみかになる
 4. 農地や農村の自然環境を守る
- の4点でした。

それぞれの項目について、児童の皆さんが知らなかったことを知ることができたようで、いろいろな面から農業と農村について学ぶためのきっかけになったのではないのでしょうか。

児童の皆さん、今後も総合学習の農作業をとおして、さらに学習を深めてください！



▲地元で作っている野菜の名前を児童の皆さんに挙げてもらいました。皆さんよく観察しているようで、たくさん名前が挙がりました。



■「登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議」を開催しました！

令和元年7月18日に「令和元年度第1回登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議」を開催しました。本会議は、農業水利施設ストックマネジメントの推進に向けた普及啓発活動の一環として毎年実施しているもので、今年度は老朽化した揚排水機場の長寿命化及び突発事故の未然防止に向けた活動計画を中心に、関係機関と意見交換を行いました。

今年度の推進会議の活動としては、登米管内の耐用年数を超過した揚排水機場（約200施設）を対象とした1次機能診断を実施することとし、施設管理者（登米市、関係土地改良区）及び当部職員立会のもと、機械メーカー10社にもご協力いただき、劣化状況等の調査を行っています。1次機能診断の結果は、今後の揚排水機場の維持管理や対策事業の検討などに活用していく予定です。

今後も推進会議や活動をとおして関係機関と連携しながら、農業水利施設のストックマネジメントの普及啓発及び推進を図っていきます。



▲推進会議の様子



▲1次機能診断の様子



■登米市沢田集落の援農ボランティアに参加しました！（登米市津山町）

令和元年8月4日（日曜日）の早朝5時から、登米市沢田集落で「援農ボランティア」が行われました。

6月2日(日曜日)にとうもろこし「味来(みらい)」の植え付けなどの援農ボランティアが行われましたが、今回はそのときに植えた「味来」の収穫を行いました！

今年は日照不足で生育が遅れたため、この日収穫に適した状態の「味来」はそれほど多くはありませんでしたが、地元の方々と一緒にボランティアの方々が収穫作業を行いました。

今回収穫できた量は残念ながらそれほど多くはありませんでしたが、朝早くからの収穫を体験できたことはとても貴重でした。沢田集落の皆さん、ありがとうございました！



▲恒例の集合写真です

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所
農業農村整備部 広報広聴委員会 (編集:管理調整班)

〒987-0511
宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5
Tel : 0220-22-5169 ~復興へ 頑張ろう! みやぎ~
Fax : 0220-22-6015
E-mail : et-tmnbkt@pref.miyagi.lg.jp
URL : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-ns/>